

会 議 名	平成26年第5回愛荘町観光振興計画策定委員会 会議結果（概要）
開 催 日 時	平成27年1月28日（水）19:00～21:15
開 催 場 所	秦荘庁舎 2階 大会議室
出 席 者	（委員長） 谷口浩志 （副委員長） 村西和雄 （識見者） 田淵正人 （観光関係者） 竹中仁美、岡部正治、西澤一弘、野村仁美、 （推薦） 藤居鐵也、川井健司、関 りん、宇山弘子 （行政関係者） 北川元洋 以上委員13名
欠 席 者	（観光関係者） 水野裕文、丸橋嘉雄 （行政関係者） 林定信 以上委員3名
事 務 局	商工観光課長 廣瀬猛、課長補佐 西川傳和、理事員 細江新市
傍 聴 者	0人
議 題	①愛荘町観光振興計画（案）について ②パブリックコメント（意見募集）の実施について ③今後のスケジュールについて ④愛荘町観光振興計画（案）の答申について
審 議 内 容	別紙のとおり
問 い 合 わ せ 先	商工観光課 担当 西川 連絡先 TEL0749-37-8057

【別紙】

①愛荘町観光振興計画（案）について

策定委員の主な意見と回答

- ・課題ということで挙げるのならば、町内の東から西へのアクセスの非常に悪いということ課題として挙げて欲しい。
(社会資本の整備で検討する。)
- ・『全国的な誘致力の高い観光資源・施設が存在しない』と言い切ってしまったら、とてももったいないと思う。資源はあるので、見つけていったらいいし、作っていったらいいので、ここで『ないため』という消極的な言葉は非常にもったいないと思う。
- ・誘致力というとこれから先、そういう可能性、ポテンシャルを持っているのに誘致力が無いと言ってしまうとダメだと思うので、いわゆる『知名度』などに置き換えた方がいいのではないですか。
- ・発信の仕方によっては十分全国に通用する観光資源がたくさんあると思う。発信の仕方とかアクセスの整備とかをすればあると思うのですが、ここで『観光資源が存在しない』という表現は消極的過ぎると思う。
(今おっしゃったように『誘致力』を『知名度』に替えましょうか。)

②パブリックコメント（意見募集）の実施について

実施機関については、平成27年2月9日から2月24日までとする。
意見募集の実施要領に基づいて実施する。

③今後のスケジュールについて

パブリックコメント（意見募集）の内容を整理し、3月中旬頃に第6回策定委員会を開催する。

④愛荘町観光振興計画（案）の答申について

次回、第6回策定委員会が最終回であり、町長の出席のもと計画（案）を答申する。
答申文については事務局案のとおり。

以上